

特集 療養通所介護を切り開く

医療ニーズと介護ニーズを併せもつ中重度の方が、在宅生活を継続できるよう支援する「療養通所介護」。2006年の導入から3年が経過した現在、介護者のレスパイトを中心に高く評価されているにもかかわらず、合計で68の事業所を数えるにとどまっている現状があります。療養通所介護が直面している課題、その打開に向けた先進的な取り組みを紹介します。

療養通所介護の現状 柴崎祐美

安定した療養通所介護事業所の経営をめざして 荻原 篤

療養通所介護の意義と支援 松本 均

療養通所介護事業所を増やすために 松本満里子

■特別記事

看取りの場を模索する——訪問看護師による看取りの検証 菊井和子

■新連載

在宅ケア。もっとやさしく、もっと自由に！ 秋山正子／訪問看護推進プロジェクト 岡戸順一／せんねん村村長 老いを地域に活かす 中澤明子

■連載

マグネツトステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時時刻々 石田昌宏／わたしのことをわたしから 内田あさみ／精神科医の家族論 服部祥子／広汎性発達障害の理解と援助 細川雅人／ほんとの出会い 岡田真紀／お母さんといっしょ 横谷順子

編集後記

●今号では4本の連載が最終回を迎え、各連載のテーマである虐待対策、認知症ケア、看取りのあり様について多くを知ることができました。これからも引き続き注目していきたいと思います。それから本誌14巻4号より表紙イラストを制作してくださっているひらいみもさんが今年9月10日～10月27日の期間、長野県安曇野市のミュージアムカフェ“バナナムーン”にて月をテーマにした個展『ひらいみも展』を開かれるそうです。詳細は<http://www.asahi-net.or.jp/~pe4m-hri/news.html>に掲載されていますので、ご都合のよろしい方はぜひ。……………富岡

●お風呂に入れる幸せ、入れてもらえる幸せ、訪問入浴サービスをめぐるさまざまな思いを特集しました。畳の上で浴槽を組み立て、お湯を張り、医療機器に気を配りつつ入浴介助し、石鹸の香りを残しながら去っていく、水一滴も漏らさずに……神業のような仕事です。コミュニケーションを大切にしながら仕事に取り組む事業者の心意気が伝わってきました。……………伊藤

訪問看護と介護 第14巻 第9号（通巻159号） 2009年9月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan

1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめ予約購読料13,200円（年間12冊，税込，送料弊社負担）

電子ジャーナル閲覧オプション付 18,200円（税込，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室：直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：富岡・伊藤・早田

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

〔JCOPY〕＜（社）出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構（電話03-3513-6969，FAX03-3513-6979，E-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「1341-7045/09/¥250/論文/JCOPY」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。